

1 3つの光色で幻想的なシーンを創出

オレンジ系、ブルー系、グリーン系の3色。それぞれを組合せることにより幻想的空間を演出します。

2 低ワットから高ワットまで各種

低ワット（オレンジ系70W、ブルー・グリーン系100W）から高ワット（オレンジ系940W、ブルー・グリーン系1000W）まで各種取り揃えています。

3 多彩な品種が様々な用途に

店舗用のアクセント照明やキャッチライト、スキー・スケート場などの広いエリアの照明など、様々な用途に使用できます。

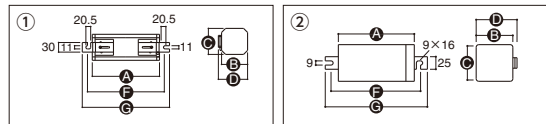
4 専用の器具・安定器は不要

一般のHIDランプ用の器具・安定器が使用できます。
コンパクトな150W-E26口金タイプの「セラルクカラー」も用意しております。
(P1355掲載)

- 用途**
- ビル、城郭、モニュメントなどの演出投光照明に
 - スキー、スケート場などの大型レジャー施設のアクセント照明に
 - 店舗、ガソリンスタンド、展示場などのキャッチライトとして
 - イベント、ステージなど演出用の光源に
 - その他、各種のディスプレイやアクセント照明、ムード照明に

■HIDカラーランプ用安定器

種類	定格電圧 (V)	形式	希望小売価格 (税抜)	入力電流 (A)			入力電力 (W)	二次電圧 (V)	二次短絡電流 (A)	二次側配線長	質量 (kg)	適合ポール	寸法 (mm)							
				無負荷時	始動時	安定時							A	B	C	D	E	F	G	
70W用	100	NHL0.7TC1A(B)351	¥12,800	1.50	1.00	0.98	90	210	1.20	25m以下	3.8	4B	②	260	67	83	77	285	300	
		NHL0.7CC2A(B)352	¥11,000	0.75	0.50	0.45	85	—	1.25	3.0	4B	①	200	66	83	76	235	265		
100W用	100	H1TC1A(B)351	¥13,800	1.56	2.10	1.30	120	220	1.50	25m以下	3.1	4B	①	220	66	83	76	255	285	
		H1CC2A(B)352	¥11,400	0.60	1.00	0.60	113	—	1.50	2.2	4B	200		66	83	76	235	265		
220/ 250W用	100	一般形高力率	H2.5TC1A(B)41	¥20,200	2.65	4.6	2.8 / 3.0	245 / 275	210	3.5	50m以下	4.7	5B	①	260	80	84	90	295	325
		一般形低力率	H2.5C2A(B)352	¥10,400	—	3.5	2.10	230 / 260	—	3.5		2.7	4B		140	66	83	76	175	205
	一般形高力率	H2.5CC2A(B)352	¥14,800	1.00	2.5	1.30 / 1.40	230 / 260	—	3.5	3.1		4B	200		66	83	76	235	265	
	低始動電流形	H2.5CL2A(B)352	¥17,900	1.75	1.66	1.23 / 1.35	230 / 260	—	3.5	3.1		4B	200		66	83	76	235	265	



安全機能付安定器 ■表中①、②の商品が対象となります。(P1447解説)

- 安定器の注意事項**
- 形式の A (B) の A は定格周波数 50Hz 用、B は 60Hz 用を表し、それぞれ別商品となります。
 - 適合ポールは、施工上・安全上の観点から推奨するサイズを記載しています。
 - 200V 用の一般形高力率安定器及び低始動電流形安定器は口出線長が 250mm となっておりますが、口出線長 750mm タイプ (形式末尾 353) も用意しております。
 - P1445、下記の安全上のご注意、ご使用上の注意をよくお読みください。
 - 入力電流、入力電力の / は、オレンジ / ブルー及びグリーン使用時の数値です。
 - 二次電圧の「—」は定格電圧と同じです。

- ご使用上の注意**
- 周囲温度は、-20 ~ +40℃の範囲内でご使用ください。
 - 電源電圧は、使用する安定器の定格電圧±6%の範囲内で使用してください。
 - 安定器からランプまでの管灯回路(安定器二次側)の配線は、表中の数値以下となるようにしてください。
 - 安定器を並べて取付ける場合、安定器相互の間を安定器の幅以上離し、通風をよくしてください。
 - 適合するランプ、器具と組合せてご使用ください。不適合のランプや器具でのご使用は感電のおそれや、故障につながるおそれがありますのでご注意ください。

- ランプの交換や照明器具の清掃の際は、必ず電源を切ってください。
- 一般形安定器の場合、安定時の電流よりも始動時や無負荷時の電流が大きいものがあり、ブレーカの遮断容量や配線容量を超えることがあります。安定器の入力電流の値をご確認のうえ、設計にご配慮ください。
- ピーク進相形安定器
 - ・安定器の二次側に接続する電線は、600Vビニル絶縁電線と同等以上の電線を使用してください。電線の接続は、ナイフなどで電線の絶縁被覆にきず付けないように注意して行い、接続部の絶縁処理は絶縁テープなどにより確実に

行ってください。万一、電線にきずが付いたまま使用すると、高電圧で電線が焼損する危険性があります。また、管灯回路の途中には差し込み接続器などは使用しないでください。

- ・安定器の二次側を器具に接続しないで放置しないでください。器具に接続しないまま電源が入ると、線間に高電圧が掛かり、電線を焼損することがあります。施工都合により、やむを得ず接続しないときは芯線を分離して、それぞれに絶縁処理を確実に行ってください。